

宮城県白石工業高等学校 志教育 実践例

木製おもちゃを地域へ寄贈



建築科では「課題研究」において、木材で玩具製作に取り組んでいます。
生徒が設計・製作した玩具は、近隣の保育園の園児たちにプレゼントしました。
※今年度の寄贈 令和4年2月8日(火) 白石市南保育園

足踏み式手指消毒スタンドの寄贈



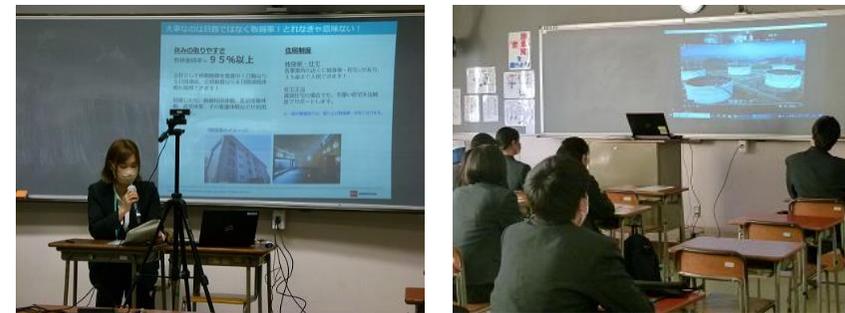
設備工業科では、「課題研究」において「足踏み式手指消毒スタンド」を製作しました。作って終わりではなく、誰かに喜んでもらえる物、今の社会に貢献できる物をテーマに製作し、地域の中学校と白石市にプレゼントさせていただきました。

地域貢献の基礎活動



生徒会による地域のゴミ拾いを行いました。

卒業生講話



自分自身の高校生時代を振り返り、今現在の自分と比較しながら後輩に向けてアドバイスをしてくれました。年齢の近い先輩からの話は、毎年、生徒たちに響き、真剣に聞いている姿が印象的でした。

「循環型社会に貢献できる産業人材育成事業」の活用



建築科にて木材の多様性に着目して「木製玩具」、「長椅子」、「鉋屑アート」、「組子(工芸品)」、「書籍の落下防止ストッパー」などの作品製作を通して、技術者・技能者の育成に取り組みました。

進路ガイダンスの実施



講師や各企業・専門学校等に来校いただき、進路ガイダンスを実施しました。

小・中・支援学校との連携



地域の中学生在が志を立てる「立志式」に卒業生として参加し、中学生に向けて言葉を贈りました。自己を振り返る機会になるとともに、高校生となった今の自分自身が果たすべき役割、そして自分自身の将来について改めて考える機会となりました。また、立志式(中学校)の手紙をいれるための紙すきによる封筒づくりも皆で協力して行いました。